

講演には液晶プロジェクタを使用することができます。液晶プロジェクタによる発表には、会場備え付けのパソコン（ウインドウズXPおよびパワーポイントがインストールされています。動画などパワーポイント以外のプレゼンテーションソフトは使用できませんのでご注意ください）を使用していただきます。ファイルはCD-RまたはUSBフラッシュメモリでお持ちいただき、会場備え付けパソコンへのファイルのコピーは各自で行っていただきます。OHPは使用できませんのでご注意ください。

平成 18 年企画発表プログラム

(2006年2月17日現在)

◆◆◆◆ 第 1 日 3 月 27 日 (月) ◆◆◆◆

[A] 海に生きる一人類の持続的発展のために今なすべきこと一

第 3 会場

| 講演 番号 | 開始 時刻 | 講 演 題 目 | ○講演者・共同研究者 |
|----------|----------|--|---------------|
| | | | 企画者：山崎哲生（産総研） |
| A-1 | 13:00 | 海に生きる（企画者挨拶） | 産総研○山崎哲生 |
| A-2 | 13:10 | 海洋深層水利用の必要性と可能性 | 大阪府立大○大塚耕司 |
| A-3 | 13:50 | 海洋再生可能エネルギー利用の必要性と可能性そして実現性 | 東大○鈴木英之 |
| | 14:30 | …………… 〈休憩 20 分〉 …………… | |
| A-4 | 14:50 | メタンハイドレートからのガス開発の必要性と可能性 | 東大○増田昌敬 |
| A-5 | 15:30 | マンガン団塊、コバルト・リッチ・クラスト、黒鉱型海底熱水鉱床開発の必要性と可能性 | 産総研○山崎哲生 |
| | 16:10 | 総合討論 | |

[G] 粉砕および粉体機能化におけるコンタミとその制御

第 4 会場

| 講演 番号 | 開始 時刻 | 講 演 題 目 | ○講演者・共同研究者 |
|----------|----------|--|--------------------|
| | | | 企画者：遠藤茂寿（産総研） |
| G-1 | 9:00 | 基調講演 1 粉砕機の摩耗と対摩耗材料 | 太平洋セメント○伊藤 光 |
| G-2 | 9:25 | 基調講演 2 粉体中の微量不均一性制御の重要性 - 材料特性との関係を中心に - | 大阪大○内藤牧男 |
| G-3 | 9:50 | 媒体型攪拌ミルのコンタミに関して | 三井鉱山○郡司 進 |
| G-4 | 10:10 | 遊星ミル内の媒体運動から見たコンタミ解析 | 東北大 佐藤 英○加納純也・齋藤文良 |
| G-5 | 10:30 | 媒体攪拌ミルによる湿式粉砕における媒体の摩耗 | 産総研○内田邦夫・遠藤茂寿 |
| G-6 | 10:50 | 湿式ボールミル粉砕における微砕性と粉砕媒体磨耗 | 山形大 小竹直哉・小林 篤○神田良照 |
| G-7 | 11:10 | 最新 凝集ナノ粒子の分散（湿式）技術 | 寿工業○院去 貢 |
| G-8 | 11:30 | 食品素材の粒度調整とコンタミ | 日清製粉○宇秋山聡 |
| G-9 | 11:50 | コンタミレス粉砕サイクロンミル | 静岡プラントサービス○戸田泰寛 |

[B] 重金属類による土壤汚染とその浄化**第5会場**

| 講演番号 | 開始時刻 | 講演題目 | ○講演者・共同研究者 |
|------|-------|-----------------------|-------------------------|
| | | | 企画者：千田 侑・井上千弘（東北大） |
| B-1 | 9:00 | 重金属類による土壤汚染の概要 | 東北大○千田 侑 |
| B-2 | 9:30 | 土壤中の重金属類の形態とその浄化方法 | 東北大○井上千弘 |
| B-3 | 10:00 | 重金属汚染土壤の調査事例（予定） | パシフィックコンサルタンツ ○堀 常男（予定） |
| B-4 | 10:30 | 植物を利用した重金属汚染土壤の浄化（予定） | フジタ○近藤敏仁（予定） |
| B-5 | 11:00 | 鉛汚染土壤の浄化事例（予定） | 三井金属鉱業○星野浩二（予定） |
| B-6 | 11:30 | シアン汚染土壤浄化技術（予定） | スミコンセルテック○牛尾亮三（予定） |

◆◆◆◆ 第2日 3月28日（火） ◆◆◆◆

[C] 地球情報学での時空間モデリング法の展望—高精度イメージングのために— 第3会場

| 講演番号 | 開始時刻 | 講演題目 | ○講演者・共同研究者 |
|------|-------|---|--|
| | | | 企画者：小池克明（熊本大） |
| C-1 | 9:00 | 方位要素を考慮した地球統計学—石油貯留槽間の亀裂分布シミュレーションへの応用— | 熊本大○小池克明・劉春学, 日鉱探開 三箇智二 |
| C-2 | 9:20 | A Study on Uncertainty Assessment in Multilayer Coal Deposit | Kumamoto Univ. Mohamad Nur Heriawan・Katsuaki Koike |
| C-3 | 9:40 | 地球統計手法による各種比抵抗探査データの統合と水理地質・水質分布のモデル構築 | 清水建設○本多 眞・桜井英行・岩佐健吾・鈴木 誠 日本原子力研究開発機構 松井裕哉 |
| C-4 | 10:00 | 地球統計学シミュレーションによる MT 比抵抗の空間分布モデリング | 産総研○麻植久史 |
| | 10:20 | 〈休憩 20分〉 | |
| C-5 | 10:40 | 時空間ヴァリオグラム：一連の降雨の連続性の解析 | 東大○正路徹也 |
| C-6 | 11:00 | Formulating Multivariate Space-time Geostatistics and Its Application to Sea Environmental Data | Kumamoto Univ. Chunxue Liu・Katsuaki Koike |
| C-7 | 11:20 | 生産トモグラフィ手法を用いた石油レザーバのキャラクタリゼーション | 京大○松岡俊文 |
| C-8 | 11:40 | GIS の高度化 | 産総研○古宇田亮一 |

[D] 粉体精製とその応用**第5会場**

| 講演番号 | 開始時刻 | 講演題目 | ○講演者・共同研究者 |
|------|-------|--------------------|-----------------|
| | | | 企画者：藤田豊久（東大） |
| D-1 | 9:30 | 粒子の形状と鋭さの評価 | 一関工高専○佐野 茂・二階堂満 |
| D-2 | 10:20 | 循環型社会機構に向けた研究開発の歩み | 秋田県立大○坂本 宏 |

◇◆◇◆◇ 第3日 3月29日(水) ◇◆◇◆◇

[E] 鉱業史**第1会場**

| 講演 番号 | 開始 時刻 | 講演題目 | ○講演者・共同研究者 |
|----------|----------|------------------------|-------------------------------------|
| E-1 | 9:30 | 第1回古代銅製錬法復元試験結果とその意義 | 企画者：梶原敏孝（日本鉱業史研究会） 日本鉱業史研究会○植田晃一 |
| E-2 | 10:00 | 熔離法の始まりと伝播—南蛮吹の源流を求めて— | 日本鉱業史研究会○井澤英二 |
| E-3 | 10:30 | いわゆるテルル金鉱について | 日本鉱業史研究会○大石 徹 |
| E-4 | 11:00 | 神岡茂住地区清五郎谷における銀鉛銅生産 | 九大○吉川竜太・本村慶喜・中西哲也 日本鉱業史研究会 井澤英二 |
| E-5 | 11:30 | 前近代ヨーロッパの鉱山における水車の利用 | 九大○中西哲也 |

[F] 資源・素材系技術者教育と技術者資格の現状**第3会場**

| 講演 番号 | 開始 時刻 | 講演題目 | ○講演者・共同研究者 |
|----------|----------|----------------|---------------------------|
| F-1 | 9:30 | 国内における技術者教育の現状 | 企画者：山口 勉（産総研） 産総研○山口 勉 |
| F-2 | 10:00 | 国内における技術者資格の現状 | 日本技術士会○高橋 毅 |
| F-3 | 10:30 | 海外における技術者教育 I | 東大○増田昌敬 |
| F-4 | 11:00 | 海外における技術者教育 II | 東邦大○金田博彰 |